

V 義務教育（小学校・中学校・特別支援学校）

1 学校教育指針

本市では、岐阜市教育大綱の基本方針「学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する」及び第3期岐阜市教育振興基本計画の理念・重点「夢と希望に満ちた未来の実現に向け、自らの意志で、果敢に挑戦できる子どもを育む」、「未来の担い手を育む教師の専門性の確立と尊重」を受け、学校教育指針を定めました。基本的方向性は、以下の2点です。

（1）全ての子どもたちに将来社会を生きる力を培う

国際化、高度情報化、少子高齢化など、社会は急速に変化し続けています。将来社会を生きる子どもたちは、こうした課題の解決に加え、新型コロナウイルスの感染拡大のように、誰も経験したことがない状況との遭遇の中でも、これまでのやり方にとらわれず新たな考え方をもち、他者と協働し、創造的に生きていくための資質・能力を身に付けていくことが必要とされています。

学校教育は学ぶことと自分の人生や社会とのつながりを実感しながら、自らの能力を引き出し、学習したことを活用して、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていけるような探究的な教育に改善することが求められています。その解決に向け「何のために学ぶのか」という学ぶ意味やねうちを確認しながら資質・能力を育てていくことが大切であり、学習の内容に応じてICTを活用するなど多様な学びしていく必要があります。本市では、誰一人取り残すことなく、自分の幸せな未来をつくり出すための力を培う教育を推進していきます。

（2）子どもたちの多様な個性や能力を活かす

教育大綱の基本方針である「生命の尊厳への理解」や「一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育」を進めていくためには、子どもたち一人ひとりの自己肯定感を育むとともに、他者への信頼感を高めていくことが必要です。

岐阜市立学校では、アゴラやICTを活用するなど様々な体験や多様な学びの場を用意し、学習指導要領の柱となる「主体的・対話的で深い学び」を積極的に実践しながら、知識の理解の質を高め、資質・能力を身に付け、能動的に学び続ける子どもを育みます。

また、様々な教育活動を通して子ども同士が関わり合う中で、互いの生命を尊重し、多様な個性や能力を正しく理解して思いやり、助け合い支え合って生きていくことの大切さを学ばせたいと考えます。

その中で、私たちは、互いの行動や考え方などが異なることにより周りとの関係に悩む子どもの存在に気づき、必要な支援をしていくことを大切にしていきます。加えて、不登校特例校「草潤中学校」の支援等の実践を、他の学校へ積極的に取り入れるなどして、一人ひとりの個性に応じた多様で質の高い学びを引き出す意図的な営みや、その効果を常に検証し改善していくカリキュラム・マネジメントを確立していきます。

《経 営》

- 学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立
- 学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施
- 幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進
- 教育環境と学校財務環境の整備
- 災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保

《指 導》

- 教科指導…「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力、人間性等」を育成する。
- 道徳指導…自己を見つめる力と他を思いやる心、基本的な倫理観や規範意識を育てる。
- 特別活動の指導…よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- 総合的な学習の時間の指導…SDGsを視点とした探究的な学習を通して、生命の尊厳への理解を深め、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる。
- 人権教育…人権に関する知的理解と豊かな人権感覚を育成する。
- 生徒指導…自己指導能力を高め、自他を尊重する望ましい人間関係を築く。
- 教育相談…人間関係づくりの力を高めるとともに、自己のよさや可能性を伸ばす。
- 進路指導…自己を見つめ、能力や適性を伸ばす。
- 健康教育・安全教育…豊かな心、健やかな体を育てる。
- 特別支援教育…自立と社会参加に必要な力を育てる。
- 教育DX、デジタル・シティズンシップ教育…将来社会を生きるための、情報活用能力を育てる。

《研 修》

- 自ら学び続け、教員の育成指標に基づいた高い専門性と指導力、感受性を身に付ける。

2 児童生徒数及び教職員数

(1) 市立小学校児童数

(令和4年5月1日現在)

区 分 学 校 名	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		通常学級計		特 別 支 援 学 級 計		総 計				
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児 童 数		学級数	男	女	児童数	学級数
1 岐 阜 小 学 校	45	2	44	2	38	2	55	2	47	2	50	2	279	12	知6、自・情9	15	3	168	126	294	15
2 明 郷 小 学 校	50	2	59	2	50	2	43	2	59	2	57	2	318	12	知6、難8	14	2	182	150	332	14
3 徹明さくら小学校	50	2	50	2	46	2	54	2	47	2	51	2	298	12	知3、自・情14	17	3	155	160	315	15
4 白 山 小 学 校	23	1	28	1	24	1	23	1	35	1	31	1	164	6	自・情5	5	1	91	78	169	7
5 梅 林 小 学 校	27	1	28	1	36	2	27	1	31	1	37	1	186	7	知3、自・情5	8	2	75	119	194	9
6 華 陽 小 学 校	48	2	37	2	36	2	43	2	31	1	33	1	228	10	知5、自・情9	14	3	107	135	242	13
7 本 莊 小 学 校	82	3	79	3	88	3	89	3	90	3	100	3	528	18	知7、自・情11、病6	24	4	282	270	552	22
8 日 野 小 学 校	73	3	50	2	66	2	61	2	62	2	84	3	396	14	知5、自・情8	13	2	215	194	409	16
9 長 良 小 学 校	55	2	40	2	61	2	60	2	46	2	53	2	315	12	知6、自・情9	15	3	169	161	330	15
10 島 小 学 校	130	4	136	4	135	4	122	4	148	5	112	3	783	24	知8、自・情13	21	3	419	385	804	27
11 三 里 小 学 校	114	4	112	4	129	4	143	5	124	4	138	4	760	25	知4、自・情13	17	3	410	367	777	28
12 鷺 山 小 学 校	72	3	80	3	62	2	89	3	79	3	83	3	465	17	知6、自・情7	13	2	236	242	478	19
13 加 納 小 学 校	54	2	65	2	50	2	49	2	49	2	54	2	321	12	知11、自・情8	19	3	189	151	340	15
14 加 納 西 小 学 校	54	2	56	2	50	2	52	2	44	2	51	2	307	12	知2、自・情4	6	2	167	146	313	14
15 則 武 小 学 校	106	4	73	3	86	3	89	3	91	3	102	3	547	19	知4、自・情12	16	3	305	258	563	22
16 長 森 南 小 学 校	121	4	99	3	120	4	104	3	112	4	121	4	677	22	知7、自・情13	20	3	374	323	697	25
17 長 森 北 小 学 校	41	2	42	2	47	2	58	2	45	2	56	2	289	12	知6、自・情7、病2	15	3	154	150	304	15
18 常 磐 小 学 校	56	2	58	2	53	2	54	2	54	2	43	2	318	12	知3、自・情6	9	2	156	171	327	14
19 木 田 小 学 校	18	1	15	1	26	1	21	1	14	1	19	1	113	6	自・情5	5	1	66	52	118	7
20 岩 野 田 小 学 校	48	2	57	2	46	2	57	2	42	2	69	2	319	12	知8、自・情13	21	3	173	167	340	15
21 黒 野 小 学 校	69	2	61	2	63	2	64	2	61	2	81	3	399	13	知3、自・情11、病1	15	4	214	200	414	17
22 方 県 小 学 校	7	1	11	1	16	1	13	1	12	1	13	1	72	6				36	36	72	6
23 茜 部 小 学 校	131	4	130	4	132	4	122	4	123	4	132	4	770	24	知9、自・情16	25	4	422	373	795	28

(令和4年5月1日現在)

区 分 学 校 名	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		通常学級計		特 別 支 援 学 級 計			総 計			
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	男	女	児童数	学級数
24 鶉 小 学 校	119	4	123	4	129	4	138	4	117	4	124	4	750	24	知10、自・情18	28	6	412	366	778	30
25 七 郷 小 学 校	80	3	74	3	104	3	104	3	127	4	101	3	590	19	知11、自・情14	25	4	296	319	615	23
26 西 郷 小 学 校	84	3	78	3	71	3	85	3	81	3	91	3	490	18	知5、自・情18	23	4	264	249	513	22
27 市 橋 小 学 校	143	5	120	4	120	4	115	4	152	5	124	4	774	26	知8、自・情8、肢2	18	3	390	402	792	29
28 岩 小 学 校	31	1	25	1	32	1	30	1	31	1	35	1	184	6	知2	2	1	96	90	186	7
29 鏡 島 小 学 校	97	3	72	3	82	3	96	3	88	3	83	3	518	18	知5、自・情12	17	3	283	252	535	21
30 厚 見 小 学 校	112	4	98	3	98	3	97	3	77	3	84	3	566	19	知8、自・情9	17	3	311	272	583	22
31 長 良 西 小 学 校	108	4	98	3	92	3	94	3	83	3	107	3	582	19	知10、自・情9	19	4	303	298	601	23
32 早 田 小 学 校	57	2	47	2	45	2	65	2	69	2	77	2	360	12	知4、自・情21	25	4	198	187	385	16
33 且 格 小 学 校	33	1	30	1	35	1	25	1	33	1	39	1	195	6	知2、自・情4	6	2	103	98	201	8
34 芥 見 小 学 校	49	2	42	2	52	2	54	2	52	2	53	2	302	12	知4、自・情6	10	2	149	163	312	14
35 合 渡 小 学 校	48	2	46	2	53	2	52	2	65	2	51	2	315	12	知7	7	1	143	179	322	13
36 三 輪 南 小 学 校	87	3	90	3	89	3	97	3	82	3	94	3	539	18	知8、自・情6	14	2	268	285	553	20
37 三 輪 北 小 学 校	16	1	14	1	14	1	17	1	13	1	20	1	94	6	知2	2	1	54	42	96	7
38 網 代 小 学 校	9	1	4	1	6		11	1	11	1	9	1	50	5	自・情2	2	1	29	23	52	6
39 城 西 小 学 校	55	2	43	2	51	2	43	2	52	2	48	2	292	12	知4、自・情5	9	2	154	147	301	14
40 藍 川 小 学 校	28	1	22	1	23	1	24	1	38	2	31	1	166	7	知2、自・情2	4	2	88	82	170	9
41 長 良 東 小 学 校	120	4	109	4	104	3	119	4	102	3	98	3	652	21	知5、自・情8	13	2	326	339	665	23
42 長 森 西 小 学 校	87	3	72	3	95	3	78	3	85	3	73	2	490	17	知2、自・情11	13	3	245	258	503	20
43 芥 見 東 小 学 校	32	1	30	1	37	2	46	2	42	2	54	2	241	10	知7、自・情8	15	2	139	117	256	12
44 岩 野 田 北 小 学 校	80	3	61	2	70	2	70	2	76	3	95	3	452	15	知8、自・情8	16	2	255	213	468	17
45 長 森 東 小 学 校	85	3	68	2	94	3	73	3	75	3	74	2	469	16	知10、自・情4	14	3	231	252	483	19
46 柳 津 小 学 校	109	4	121	4	117	4	116	4	105	3	138	4	706	23	知6、自・情5	11	2	357	360	717	25
46 校 計	3,143	115	2,897	107	3,073	108	3,141	110	3,102	112	3,273	108	18,629	660	637		118	9,859	9,407	19,266	778

※38 網代小学校 2・3年生は複式学級

(2) 市立小学校教職員数 ※県費職員の囲み数字は兼務者の数を示し、それぞれ外数とします。学校基本調査では計上しませんが、県費の学校栄養職員の兼務も囲み数字にて記載しています。
※市費職員の囲み数字は、会計年度任用職員の数を示し、それぞれ外数とします。

(令和4年5月1日現在)

区分	県 費 教 職 員																			市 費 教 職 員										総 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	教 員 (休職者等を含む。)															職 員				計			教 員		職 員				計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	校長		副校長		教頭		主幹 教諭		指導 教諭		教 諭		養護教 諭		養護 助教諭		栄養教諭		講 師		事務 職員		栄養 職員		男	女	計	講 師	栄養 職員	調理員	校務員	男	女	計	男	女	総計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
学校名	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

(令和4年5月1日現在)

[illegible]

*市橋小学校の栄養職員1人は男

(3) 市立中学校生徒数

(令和4年5月1日現在)

区 分 学 校 名	1 年		2 年		3 年		通常学級計		特 別 支 援 学 級 計		総 計				
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生 徒 数	学級数	男	女	生徒数	学級数	
1 岐 阜 清 流 中 学 校	134	4	155	5	136	4	425	13	知 9、自・情 16	25	5	238	212	450	18
2 岐 阜 中 央 中 学 校	91	3	96	3	109	3	296	9	知 7、自・情 4、難 5	16	3	170	142	312	12
3 本 莊 中 学 校	139	4	129	4	129	4	397	12	知 5、自・情 4、病 2	11	3	191	217	408	15
4 梅 林 中 学 校	84	3	112	4	88	3	284	10	知 4、自・情 5	9	2	159	134	293	12
5 加 納 中 学 校	172	5	178	6	163	5	513	16	知 3、自・情 9	12	3	263	262	525	19
6 長 森 中 学 校	260	8	237	7	239	6	736	21	知 7、自・情 9	16	3	388	364	752	24
7 長 良 中 学 校	101	3	114	4	107	3	322	10	知 5、自・情 1	6	2	172	156	328	12
8 島 中 学 校	191	6	186	6	195	5	572	17	知 6、自・情 4	10	2	292	290	582	19
9 岩 野 田 中 学 校	136	4	155	5	123	4	414	13	知 5、自・情 3	8	2	205	217	422	15
10 精 華 中 学 校	231	7	225	7	196	5	652	19	知 9、自・情 10、肢 3	22	5	310	364	674	24
11 藍 川 中 学 校	91	3	87	3	109	3	287	9	知 1	1	1	146	142	288	10
12 三 輪 中 学 校	106	4	116	4	115	3	337	11	知 4、自・情 7	11	2	194	154	348	13
13 岐 北 中 学 校	174	5	184	6	214	6	572	17	知 3、自・情 16、病 2	21	5	318	275	593	22
14 厚 見 中 学 校	71	3	83	3	75	2	229	8	知 2、自・情 2	4	2	122	111	233	10
15 青 山 中 学 校	137	4	155	5	137	4	429	13	知 3、自・情 5	8	2	220	217	437	15
16 陽 南 中 学 校	156	5	177	6	168	5	501	16	知 5、自・情 4	9	2	266	244	510	18
17 藍 川 東 中 学 校	54	2	66	2	57	2	177	6	自・情 3	3	1	91	89	180	7
18 岐 阜 西 中 学 校	167	5	179	6	160	4	506	15	知 5、自・情 14	19	3	286	239	525	18
19 藍 川 北 中 学 校	35	1	43	2	43	2	121	5	知 4、自・情 4	8	2	68	61	129	7
20 長 森 南 中 学 校	121	4	127	4	129	4	377	12	知 7、自・情 7	14	2	191	200	391	14
21 東 長 良 中 学 校	146	5	183	6	162	5	491	16	知 6、自・情 3	9	2	265	235	500	18
22 境 川 中 学 校	272	8	284	9	297	8	853	25	知 9、自・情 15	24	5	446	431	877	30
23 草 潤 中 学 校	10	1	15	1	18	1	43	3		0	0	12	31	43	3
23 校 計	3,079	97	3,286	108	3,169	91	9,534	296		266	59	5,013	4,787	9,800	355

(4) 市立中学校教職員数

※県費職員の囲み数字は兼務者の数を示し、それぞれ外数とします。学校基本調査では計上しませんが、県費の学校栄養職員の兼務も囲み数字にて記載しています。
※市費職員の囲み数字は、会計年度任用職員の数を示し、それぞれ外数とします。

(令和4年5月1日現在)

区分 学校名		県 費 教 職 員																		市 費 教 職 員								総 計						
		教 員 (休職者等を含む。)														職 員				計			教 員		職 員		計							
		校長		副校長		教頭		主幹 教諭		指導 教諭		教 諭		養護 教諭	養護 助教諭	栄養 教諭	講 師		事務 職員	栄養 職員	男	女	計	講 師		栄養 職員	校務員	男	女	計	男	女	総計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女	男	女	男				女	女	男								女
1 岐阜清流中学校	1				1						14	9	1		2	(2) 1	3		1		(2) 17	16	(2) 33	1			1	2		(2) 2	(2) 19	16	(2) 35	
2 岐阜中央中学校	1				1						13	7	1		1	(1) 1	1		1		(1) 16	11	(1) 27		1		(1) 1	(1) 1		(1) 1	(2) 16	12	(2) 28	
3 本 荘 中 学 校	1				1						13	7	1		1	(1) 1	(1) 2		1		(1) 16	(1) 12	(2) 28	1			(1) 1	(1) 1		(1) 1	(2) 17	(1) 12	(3) 29	
4 梅 林 中 学 校	1					1					13	7	1			(1) 1	(1) 1		1		(1) 14	(1) 11	(2) 25		1		(1) 1	1	1	(1) 2	(1) 15	(2) 12	(3) 27	
5 加 納 中 学 校	1				1						20	8	1			1	1	1			24	10	34		1		(1) 1	1	1	(1) 1	(1) 2	(2) 25	(1) 11	(1) 36
6 長 森 中 学 校	1				2						21	16	1			2	(2) 2	1	1		27	(2) 20	(2) 47	1			(1) 1	(2) 1	(1) 1	(3) 1	(2) 28	(3) 20	(5) 48	
7 長 良 中 学 校	1				2						15	7	1		1				1		18	10	28	1			(1) 1		1	(1) 1	(1) 19	10	(1) 29	
8 島 中 学 校	1				2						12	18	1			(2) 2	(1) 1		1		(2) 17	(1) 21	(3) 38	1		(1) 1	2	(1) 2	(1) 2	(2) 19	(2) 21	(4) 40		
9 岩野田中学校	1				1						15	8	1				(1) 1		1		18	(1) 9	(1) 27	1		(1) 1	2	(1) 2	(1) 2	(2) 20	(2) 9	(2) 29		
10 精 華 中 学 校	1				1		1	1			16	(1) 14	1		1	1	8		2		21	(1) 26	(1) 47	1			(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 22	(1) 26	(2) 48		
11 藍 川 中 学 校	1				1						(1) 13	2	1			(1) 1			1		(1) 16	(1) 4	(2) 20		1		(1) 1	1	(1) 1	(1) 2	(1) 17	(2) 5	(3) 22	
12 三 輪 中 学 校	1				1						11	8	1			1	(5) 1	1	1	1	15	(5) 11	(5) 26		1		(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 1	(1) 15	(6) 12	(7) 27	
13 岐 北 中 学 校	1				2						20	12	1		1	(3) 2	1	1	1		26	(3) 16	(3) 42	1			(2) 1		1	(2) 1	(2) 27	(3) 16	(5) 43	
14 厚 見 中 学 校		1	(1)		(1) 2		1				(8) 7	(14) 9	1			(1) 3	(4) 3		1		(11) 13	(19) 15	(30) 28		1		(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(12) 13	(20) 16	(32) 29	
15 青 山 中 学 校	1				1						20	2	1				2		1		22	6	28	1			(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 1	(1) 23	(1) 6	(2) 29
16 陽 南 中 学 校	1				1						22	5	1			1		1			24	8	32	1			(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 2	(1) 25	(1) 8	(2) 33	
17 藍川東中学校	(1) 1				(1) 1		1				(4) 8	(10) 5	1			(3) 1			1		(5) 12	(15) 6	(20) 18		1		(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 1	(6) 12	(16) 7	(22) 19	
18 岐阜西中学校	1				1						(1) 17	10	1		1	(1) 1	2	1			(2) 21	(2) 14	(2) 35	1			(2) 1	(2) 1		(2) 1	(4) 22	(8) 14	(4) 36	
19 藍川北中学校		1	(1)		(1) 1		1				(4) 4	(6) 6	1	1	1	(1) 1	1	1			(6) 7	(8) 11	(14) 18	1			(1) 1	(1) 1		(1) 1	(7) 8	(8) 11	(15) 19	
20 長森南中学校	1				1						16	5		1		1		1		(2) 19	(2) 7	(2) 26	1			(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 1	(1) 20	(3) 7	(4) 27	
21 東長良中学校	1				1						26	3	1					1	(1) 1		29	(1) 4	(1) 33	1			(2) 1	(2) 1		(2) 1	(2) 30	(1) 4	(3) 34	
22 境 川 中 学 校	1				2						25	18	2		1	(2) 4	(1) 1		2		(2) 32	(1) 23	(3) 55	1			(2) 1	(2) 1		(2) 1	(4) 33	(1) 23	(5) 56	
23 草 潤 中 学 校	1				1	1	1				6	6	1					1			9	9	18		1		(1) 1	(1) 1		(1) 1	(1) 9		(1) 19	
23 校 計	(1) 21	2	(2)		(2) 28	(1) 2	4	1	1		(18) 347	(31) 192	(3) 23	1	10	(11) 23	(26) 30	9	19	(1)	(34) 433	(62) 280	(96) 713	15	8	(12) 22	6	(22) 21	(12) 8	(34) 29	(56) 454	(74) 288	(130) 742	
総 計	24		2		33		5		1		588		26	1	10	90		28	1		467	342	809	23		12	28	43	20	63	510	362	872	

(5) 市立特別支援学校児童生徒数

※囲み数字は、通常学級と重複学級の両方に在籍する児童生徒の数を示します。当該学年の児童生徒数に含みません。

(令和4年5月1日現在)

区 分 学 校 名	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		通常学級計		重複学級計		総 計			
	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数	男	女	計	学級数
岐阜特別支援学校 小	(3) 16	3	(2) 16	3	(1) 9	2	(2) 6	1	21	4	(1) 6	1	74	14	(重) 9	3	61	22	83	17
〃 中	10	2	(1) 14	3	(3) 13	3	-	-	-	-	-	-	37	8	(重) 4	2	30	11	41	10
〃 高	(3) 38	5	(2) 29	4	(4) 34	5	-	-	-	-	-	-	101	14	(重) 9	4	78	32	110	18

(6) 市立特別支援学校教職員数

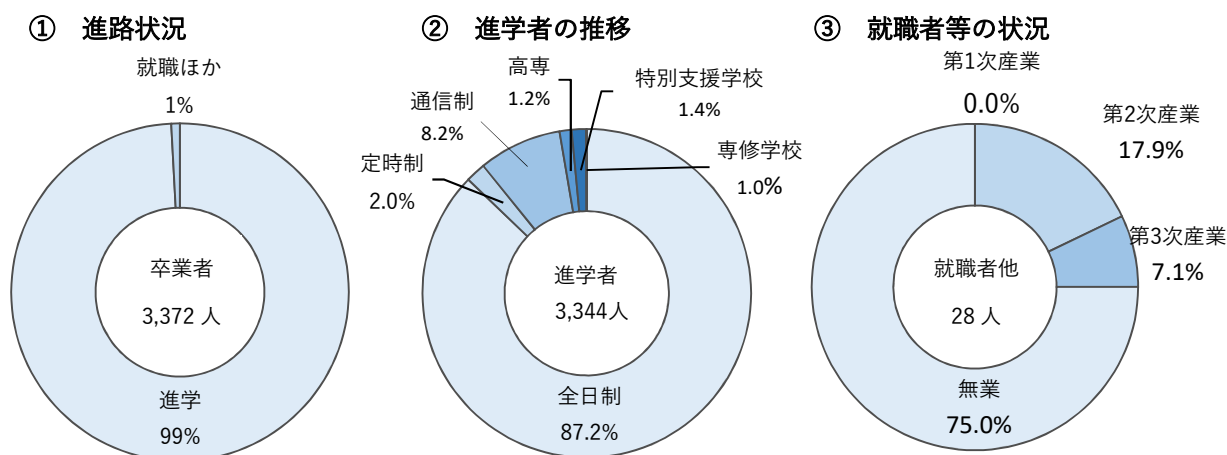
※市費職員の囲み数字は、会計年度任用職員の数を示し、それぞれ外数とします。

(令和4年5月1日現在)

区 分 学 校 名		県 費 教 職 員（休職者等を含む）														市 費 教 職 員						総 計				
		校 長		教 頭		教 諭		養護 教諭	講師		事務職員		栄養 職員	男	女	計	講 師		調理員	校務員	男	女	計	男	女	計
																	男	女								
		男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	女				男	女	女	男						
岐阜特別支援学校 小中高			1	1	1	19	51	2	7	22	2	3	1	29	81	110			⑤		0	⑤	⑤	29	⑤	⑤

3 進路状況

■ 市立中学校卒業生の進路状況（令和３年度）



年 月	卒 業 者	進 学 者		就 職 者 そ の 他	
		人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)
平成30年3月	3,651	3,619	99.1%	32	0.9%
平成31年3月	3,531	3,498	99.1%	33	0.9%
令和元年3月	3,355	3,319	98.9%	36	1.1%
令和2年3月	3,304	3,278	99.2%	26	0.8%
令和3年3月	3,372	3,344	99.2%	28	0.8%

4 事業

■ 岐阜市型コミュニティ・スクール研究推進事業

国が進める新しい公立学校運営の仕組み「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を踏まえ、平成27年度までに市内全小中特別支援学校が、平成30年度からは、市立幼稚園、高等学校を含めた岐阜市立の全ての園・学校がコミュニティ・スクールになりました。

各校においては、学校・家庭・地域の連携強化を進め、地域に開かれ、地域に支えられるよりよい学校づくりを行うことに努めており、平成29年8月には、岐阜市において「全国コミュニティ・スクール研究大会」を開催し、本市の取組を全国に発信しました。

令和3年からは、地域が主体となったコミュニティ・スクールの運営を目指し、支援推進コーディネーター、学校の管理職、地域のシニアを対象とした「コミュニティ・スクール推進セミナー」を年4回開催し、時代背景、地域と学校をつなぐ意義等について、情報共有・共通理解を図り、コミュニティ・スクールの充実に向け歩みを進めています。

また、平成29年から5年間、モデル校である芥見東小学校区において、シニアの知識や経験を子どもたちへの教育に活かす仕組みについて、東京大学牧野研究室との共同研究を実施してきました。ここで得られた知見を

横展開すべく、令和4年の「コミュニティ・スクール推進セミナー」では、先進校等の実践発表及び有識者の講評の場を新たに組み入れ、好事例の共有を図ります。それにより、各校に既存の活動の中に地域性を導入した学びを展開していきます。

■ A L T（外国語指導助手）派遣事業

各中学校1学級あたり週1.5時間（年間53時間）以上、A L T（外国語指導助手）が訪問できるように配置し、生徒の聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成しています。日本人教員の英語授業の補助とともに、英語教材の作成、教員の授業力・英語力アップのための研修、外国語スピーチコンテストへの協力なども行っています。また、給食や掃除なども生徒と共に活動し、日常生活の中でもコミュニケーションをとっています。

■ 小学校英語教育推進事業

平成16年度から、小学校英語教育事業として継続展開しています。

小学校から英語に慣れ親しみ、英語によるコミュニケーションを積極的に図ろうとする態度や英語によるコミュニケーション能力の育成を目指し、これまでの3年生から6年生に加え、平成27年度からは小学校1年生から教科としての英語科の授業を、系統的・計画的に実施しています。令和3年度からは、小学校の第1学年からA L Tを派遣し、小中の英語教育の連携強化を図っています。

英語力の向上を図ることはもちろんですが、国際化社会が着実に進行している現在、多様な外国人とのコミュニケーションに際して、物怖じせず自分の思いを伝えることができる人材の育成を図るとともに、生まれ育った岐阜のまち等を紹介することができる力の育成にも努めています。

小学校低学年	年間18時間の英語科実施	A L Tを9時間派遣
小学校中学年	年間35時間の英語科実施	A L Tを18時間派遣
小学校高学年	年間70時間の英語科実施	A L Tを35時間派遣

■ 小中一貫・連携教育の推進

岐阜市の小中一貫・連携教育の推進の重点の一つ目は、義務教育修了時を見据えながら、校区の実情に応じて目指す子どもの姿（9年間を貫く指導目標）を設定すること、二つ目は、そのために必要な指導内容と方法を系統化し、担任が代わっても、9年間一貫した指導を行うことです。

計画的かつ系統的に、こうした指導を行うことによって、一人ひとりの基礎的・基本的な学力の定着、基本的な生活習慣の育成、家庭や地域との連携を図った道徳教育の推進などを目指しています。平成20年度より、市内の全中学校区で、校区の実情に応じて様々な取組を進めるとともに、先進自治体の取組の視察等、調査研究を進めています。平成27年度からは、小中一貫・連携教育モデル校を指定し、教育目標の統合やカリキュラムの一貫化を進めています。

令和2年度は小中一貫校の研究調査事業として、全中学校区で、小中一貫・連携教育を推進し、9年間を見通した実践を積み上げました。その中で、施設が隣接している厚見小学校・厚見中学校、藍川小学校・

藍川北中学校の両校区が、岐阜市型小中一貫校として教育活動をスタートしました。一人の校長が小学校と中学校を兼務し、一体的にマネジメントしていきます。令和3年度からは、芥見東小学校・藍川東中学校も教育活動をスタートしています。行事、会議の精選、教科の専門性の向上、部活動の早期体験など、より地域との密接な関係をつくり、地域ぐるみの教育を推進していきます。

■ 全岐阜市教育研究所研修講座事業

教育研究所において、岐阜市教育大綱を根幹に据えながら、教員の資質向上、指導力向上を目的として、教員のキャリアステージ（基礎形成期、資質向上期、資質充実期、資質貢献期）に合わせた研修や、校務分掌や職務に応じた研修を実施し、リーダーの育成に努めています。また、若手教員やミドルリーダーを育成するため、学校組織マネジメントやメンターチーム活用の有効性についても、周知しています。教育委員会が受講者を指定する「基本研修」、教員の希望で受講する「選択研修」、岐阜市教育委員会指導主事が講師として学校に出かけて行う「出前講座」などを含め、全147の研修講座を開設しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安易に中止又は資料配布のみにとどまらないよう、その効果を十分に検討しながら適宜、オンライン研修も取り入れて実施しています。

■ 「GIGA スクール構想」の推進と「ICT・情報教育」の推進

本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、全国に先駆け、令和2年9月までに全ての児童生徒に、1人1台タブレット端末の貸与が完了しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴うオンライン学習支援などの誰一人取り残さない繋がり確保をはじめとし、個別最適な学び、協働的な学びの推進、働き方改革の推進など、様々な取組みを実施してきました。

このような中、令和4年3月には「岐阜市GIGAスクール推進計画」を策定し、オール岐阜市学校体制で計画的に岐阜市版GIGAスクールのさらなる推進を図ることとしています。

具体的には、学習系ソフトウェアや機器等のデジタル環境について計画的に見直しを行い、教員と児童生徒にとってよりよい環境づくりを目指しています。

例えば、今年度は、学習支援ソフトについて、講義形式の動画視聴機能のある「学習支援ソフト」の活用を開始します。これにより、一人ひとりが自律的に学び直し、解き直しができるようになり、それぞれのつまづきを克服したり、教員がクラス全体や一人ひとりの習得状況を容易に把握でき、授業設計や指導の判断材料にできるなど、個別最適な学びの一層の推進を図っていきます。

また、各教室設置の電子黒板を段階的に更新し、児童生徒のタブレット端末の画面を投影して話し合ったり発表したりする協働的な学びを充実していきます。

このようなデジタル環境を有効活用し授業のDXをさらに加速させるために、研究校による授業モデルを構築し、岐阜市の全ての学校でそのモデルを実践していきます。このような授業モデルを実践することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適な学びや協働的な学び、創造性を育む学びの実現を目指しています。

働き方改革の観点では、タブレット端末やオンラインコミュニケーションツールを活用した会議や研修

のオンライン化・ペーパーレス化、これまで電話や紙で行っていた学校と保護者間の連絡をデジタル化するアプリの導入などにより、教職員の負担軽減を図っていきます。

加えて、岐阜市の ICT・情報教育の推進に「デジタル・シティズンシップ教育」の考え方を取り入れています。令和 3 年 7 月に岐阜市教育委員会と岐阜聖徳学園大学及び短期大学部と「デジタル・シティズンシップ教育推進に係る連携協定」を結びました。そこで、大人から与えられた約束を守るやり方から、自分で主体的に考えて行動できる児童生徒の育成に取り組んでいます。

このような観点の下、柳津小学校で今年度入学した小学校 1 年生に対し、岐阜聖徳学園大学と連携し、教職を目指す学生と一緒にタブレット端末の貸与式（「GIGA びらき」）の実証事業を実施しました。この「GIGA びらき」は来年度以降の全校展開を計画しています。

これらの取組を通じて、子どもたちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力の一層確実な育成を図ります。

■ 「生命の尊厳・生き方の探究学習」スーパーバイザー事業

一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進するため、令和 3 年に有識者を交えたワーキンググループを開き、各教科等で付けたい力やねらい等を明確にして、生命の尊厳への理解を深める「生き方の探究学習」の全体像を完成させました。そして、教科、特別活動、総合的な学習の時間のカリキュラムに、教科等横断的な視点から生命の尊厳への理解を深める「生き方の探究学習」の時間を位置付けました。

令和 4 年からは、「生き方の探究学習」の一層の充実を目指し、いじめや不登校などの生徒指導上の諸課題への対応、道徳教育や特別支援教育等、各分野において専門的な知識・技術を有し、学校教育において活動実績がある専門家をスーパーバイザーとして、全ての市立小中学校及び特別支援学校に 1 名派遣しています。各学校においては、スーパーバイザーからの助言を生かし、各分野における指導の工夫改善を図るようにしています。

■ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（令和 3 年度）

< 小学生 >

	小 学 校 5 年 生 男 子			小 学 校 5 年 生 女 子		
	市平均	県平均	国平均	市平均	県平均	国平均
握 力 (kg)	16.10	16.06	16.22	16.02	15.95	16.09
上 体 起 こ し (回)	18.68	18.46	18.90	18.10	17.85	18.08
長 座 体 前 屈 (cm)	34.22	33.07	33.48	37.98	37.18	37.90
反 復 横 跳 び (点)	42.15	40.42	40.35	40.50	39.07	38.72
20m シャトルラン(回)	44.78	44.44	46.83	35.92	36.26	38.15
50m 走 (秒)	9.49	9.47	9.45	9.70	9.63	9.64
立 ち 幅 と び (cm)	151.34	149.40	151.41	144.75	144.36	145.18
ソフトボール投げ(m)	20.27	20.53	20.58	13.67	13.88	13.30
体 力 合 計 点 (点)	52.63	51.80	52.52	54.81	54.30	54.64

< 中学生 >

	中 学 校 2 年 生 男 子			中 学 校 2 年 生 女 子		
	市平均	県平均	国平均	市平均	県平均	国平均
握 力 (kg)	28.31	28.99	28.80	23.47	23.68	23.43
上 体 起 こ し (回)	25.80	25.74	25.99	22.13	22.02	22.32
長 座 体 前 屈 (cm)	45.93	44.44	43.67	47.99	46.40	46.20
反 復 横 跳 び (点)	51.48	51.74	51.19	46.00	46.41	46.25
持 久 走 (秒)	412.15	409.94	406.38	305.61	302.79	297.62
20m シャトルラン(回)	71.87	77.78	79.88	48.38	51.59	54.24
50m 走 (秒)	7.88	7.95	8.01	8.84	8.85	8.88
立 ち 幅 と び (cm)	196.97	196.65	196.36	170.19	168.55	168.15
ハ ン ド ボ ー ル 投 げ (m)	21.20	20.48	20.31	13.45	13.25	12.72
体 力 合 計 点 (点)	41.73	41.49	41.18	48.81	48.84	48.56

5 特別支援教育

「特別支援教育」とは、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。平成19年4月から、「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障がいのある子どもたちの支援をさらに充実していくこととなりました。

子どもたちの「学びの場」である学校は、保護者や地域の期待に応え、子どもたち一人ひとりの能力を最大限に伸ばす場であることが必要です。「基礎的・基本的な学力」の確実な定着、社会の一員として自分のことだけでなく、「他者を尊重し思いやる心」や健康的な生活を送ることができるための「健やかな体」の育成など、知・徳・体のバランスがとれた「生きる力」を今まで以上にはぐくむことや特別支援教育の充実が求められています。

本市では、発達障がいを含む障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室を設置するとともに、全教育活動の中で、適切な教育や指導、必要な支援を行っています。また、各学校の特別支援教育の推進や教育支援体制の整備を促進するための専門性の向上を図るとともに、各学校の特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、通級担当教員、通常学級の担任等それぞれの対象者に対し、目的を明確にした研修を行っています。

■ 特別支援教育介助員配置事業

特別支援学級に「特別支援教育介助員」を配置し、保護者との連携のもとで学習や生活の支援を充実しています。

令和4年度 小学校32人 中学校9人

■ ハートフルサポーター配置事業

通常学級に在籍する落ち着きのなさ等の様々な様相のある児童生徒に対して、きめ細かな指導をし、落ち着いた学校生活と確かな学力の定着を目指すため、学校の実態に応じて弾力的に活用できる「ハートフルサポーター」を配置しています。

令和4年度 126人（小中各校1～3人・複数配置48校）

■ ハートフルティーチャー配置事業

平成28年度から、通常学級で配慮を要する児童生徒が在籍する学級に配置し、取り出し指導の授業を単独で実施したり、欠員が生じた学校で単独で授業したりすることで、どの子にも常に学習が成立するよう「ハートフルティーチャー」を配置しています。

令和4年度 小学校3人 中学校5人

■ 特別支援教育対象児童生徒への指導法改善

小中学校の特別支援学級や特別支援学校、通常学級に在籍する発達障がいを含む障がいのある児童生徒の個のニーズに応じてより適切な指導・支援を行うため、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、指導法改善に努めます。こうした一人ひとりに応じた指導や支援に加え、障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組み（インクルーシブ教育システム）を構築することに取り組みます。

(1) 就学援助

経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対して、学用品費や給食費等を支給援助し、教育の機会均等の精神に基づき、すべての児童生徒が等しく義務教育を受けることができるよう配慮しています。

■ 要保護及び準要保護児童生徒援助費支給状況（令和3年度）

	小 学 校			中 学 校			合 計	
	受給者数 (人) a	支給額 (千円) b	1人あたり (円) b/a	受給者数 (人) a	支給額 (千円) b	1人あたり (円) b/a	受給者数 (人)	支給額 (千円)
学用品費・通学用品費 校 外 活 動 費	2,670	36,246	13,575	1,505	37,580	24,970	4,175	73,826
新入学児童生徒学用品費 (現年度小学1年)	93	4,749	51,065	57	3,420	60,000	150	8,169
新入学児童生徒学用品費 (現年度小学6年)	444	26,640	60,000	-	-	-	444	26,640
新入学児童生徒学用品費 (次年度小学1年)	401	20,475	51,060	-	-	-	401	20,475
修 学 旅 行 費	442	8,041	18,192	483	12,835	26,573	925	20,876
学 校 給 食 費	2,616	116,541	44,549	1,468	76,158	51,879	4,084	192,699
ク ラ ブ 活 動 費	-	-	-	832	5,246	6,305	832	5,246
生 徒 会 費	-	-	-	924	503	544	924	503
P T A 会 費	2,198	7,322	3,331	1,369	5,518	4,031	3,567	12,840
卒 業 ア ル バ ム 代	432	4,752	11,000	474	4,171	8,800	906	8,923
合 計	-	224,766	-	-	145,431	-	-	370,197

(2) 特別支援学級等への就学奨励

小中学校の特別支援学級等に就学する児童生徒に対して、その特殊事情に鑑み、学用品費や給食費等を支給援助し、経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興に資することとしています。

■ 特別支援教育就学奨励費補助金支給状況（令和3年度）

	小 学 校			中 学 校			合 計	
	受給者数 (人) a	支給額 (千円) b	1人あたり (円) b/a	受給者数 (人) a	支給額 (千円) b	1人あたり (円) b/a	受給者数 (人)	支給額 (千円)
学用品費・校外活動費	294	1,532	5,211	119	885	7,437	413	2,417
新入学児童生徒学用品費	38	958	25,211	45	1,233	27,400	83	2,191
修 学 旅 行 費	33	293	8,879	33	318	9,636	66	611
通 学 費	0	0	0	2	62	31,000	2	62
学 校 給 食 費	309	6,876	22,252	123	3,242	26,358	432	10,118
合 計	-	9,659	-	-	5,740	-	-	15,399

(1) いじめの防止と克服にむけて

令和元年度7月に発生した市内中学生の重大事態を重い教訓として、岐阜市いじめ防止対策推進条例の改正、「いじめ防止のための総合的な取組」を構築しました。いじめ防止のための総合的な取組を、より実効性のあるものとなるように、毎年見直しを行い、様々な取組を実施します。引き続き全市立学校にいじめ対策監を配置し、いじめ未然防止の取組の充実といじめ事案発生時の適切な対応等、いじめの克服に向けて取り組みます。いじめ対策監がいじめ防止に関する講話や学校での取組状況について情報共有を行う「いじめ対策監研修」を年11回開催します。

- ・ いじめ対策監の活動を支援するため、市長部局と教育委員会による「いじめ対策監支援本部会議」を年間4回実施します。
- ・ いじめ事案発生時の対応事例について、前年度作成のいじめ事案対応事例集を活用して、いじめ対策監研修だけでなく、各校においても、いじめ対策監が中心となり、事例研修を実施します。
- ・ 「いじめを見逃さない日」では、地域の方や保護者等を招き、座談会をする機会を設けています。また、学校運営協議会等で保護者や地域の方と、いじめ克服に向けた取組について検討する場を設けています。
- ・ いじめ事案発生時においては、関係児童生徒の保護者に対して、初動の段階では具体的な指導方針等、指導後には学校と保護者がそれぞれ見届ける内容等を丁寧に連絡しています。

令和4年度より、校長経験者である主任いじめ対策監5名を配置し、各校のいじめ対策監を中心に行っている、いじめ未然防止の取組、いじめ事案対応の一層の充実と平準化及び特定案件への重点的支援等していきます。また、その豊富な知識と経験、キャリアを活かし、若手教員の育成、各校の管理職に対する助言、支援をしていきます。

いじめ防止に関する岐阜市の取組を、岐阜市教育委員会いじめ問題対策委員会に報告し、指導、指摘をいただき、さらなる強化を図っていきます。また、岐阜市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめ防止に係る関係機関の取組について理解の促進と連携強化を図ります。

各学校において、条例をもとに「学校いじめ防止基本方針」の見直しを行い、各学校の実態に応じた具体的な取組を明記するなど、教職員のみならず、保護者や地域の関係者に周知していきます。

スクールロイヤーとの連携を強化し、学校の全教職員を対象にした事案対応研修を実施するなど、研修内容の改善及び研修対象者の拡大、業務内容の見直しを図っていきます。



子どもを支えるネットワークの充実

- ・保護者や地域の大人による見守り
- ・コミュニティ・スクール機能の活用
- ・保護者や地域の大人からの情報
- ・地域の教育力活用

いじめの未然防止

- ・自己肯定感や仲間意識の醸成
☆自分の気持ちを
伝え合える仲間関係を築く
→良さ見つけ
※姿・行動の背景にある意識・思い
→趣味交流
※普段気付けない互いの良さや
思いから繋がる

生命の尊厳への理解を深める学び

- ・生き方の探究学習
- ・各教科における視点の明確化
- ・外部講師活用講話
(自殺予防、犯罪被害者、性教育等)

思いを共有・広げる場

- ・家庭教育学級
- ・各種指導者等への研修
- ・PTA総会・研修等
- ・「広報ぎふ」

いじめの克服に向けた組織等

- ・人権啓発センター
- ・子ども・若者総合支援センター
- ・自治会連合会
- ・PTA連合会

地域の方へ

私たちは…

今は家族、先生以外の大人と関わる機会が減っている。私たちは地域の方と話がしたい。どんどん話しましょう。

保護者へ

私たちは…

自分の力で乗り越えたい。困ったときは助けてほしいけど、それまでは信じて見守ってほしい。

子ども

私たちが…

自分の気持ちを伝え合うことができる仲間関係を築く。良さを認め合う場、自分の興味・関心を表出できる場の設定。

先生へ

私たちは…

私たちはいろんな先生に相談したいと思っている。相談した時には、じっくりと私たちの声に耳を傾けてほしい。

岐阜市
生徒会
サミット
宣言

▶大人と子どもたちの4つの約束

- 1 どの子どもも全力で応援する → 誰も一人ぼっちにさせない
- 2 いつでもどんな相談も聞く → どんなことも受け止める
- 3 仲間に悲しい思いをさせる子は、みんなで指導する
→ いじめはみんなで必ず止める
- 4 相談されたらその日のうちに問題解決に向けてみんなで立ち向かう
→ 必ず教職員全員で問題解決に立ち上がる

いじめに向かわない自分たちになる。
いじめが起きにくい学校をつくる。

自治的・自浄的な取組

- ・児童会・生徒会活動
- ・有志組織による活動
- ・あったかい言葉かけ運動
- ・いじめ防止の啓発

いじめ問題に正面から 向き合い続ける取組

- いじめを見逃さない日（毎月3日）
- いじめ防止強化週間（6/27～7/3）
- いじめについて考える日（7月3日）

いじめは、いつ、どこでも、誰にでも起こり得る。
見ようとしなければ見つからない。

解決への歩み出し

- ・全職員で情報共有・見届け
- ・関係者への継続的支援・指導
- ・確実な引継ぎ（校種・学年）
- ・関係機関との連携

組織的対応、継続的対応

組織対応

- ・学校いじめ防止基本方針の遵守
- ・全職員による組織対応
- ・子どもたちの安全確保
- ・保護者との綿密な連携

共有、即時対応、組織的対応

早期発見

- ・アンケートの活用
- ・学校組織での判断
- ・Wサポートプラン
- ・保護者との連携
- ・教育相談の充実

SOSの発信を促進

日常的な取組

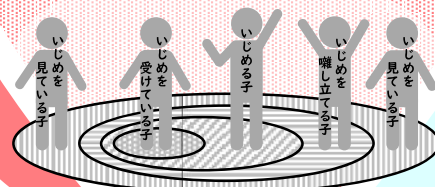
- ・子どもの
声を聴き人間関係の構築
些細な変容への気付き
具体的な姿・行動・背景の価値付け

各種研修の充実

- ・いじめ発生時対応演習（事例研修）
- ・法教育授業（弁護士による授業）
- ・SOSの出し方教育
- ・学校人権教育研修会
- ・STARアセスメントの活用
- ・心のスキルアップトレーニング

いじめの克服に向けた施策等

- ・いじめ問題対策委員会
- ・いじめ問題対策連絡協議会
- ・いじめ対策監支援本部会議・研修会
- ・学校いじめ防止基本方針の更新と遵守
- ・総合教育会議等を通しての対策強化
- ・他市町教育委員会との連携



いじめの状況（令和３年度）

	解消しているもの (日常に観察継続中)		解 消 に 向 け て 取 組 中				そ の 他		合 計
			いじめを認知してから 3か月以上経過しているもの		いじめを認知してから 3か月経過していないもの				
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数
小 学 校	257	80	31	10	34	10	0	0	322
中 学 校	170	75	15	7	40	18	0	0	225
合 計	427	78	46	8	74	14	0	0	547

いじめの認知件数の学年別・男女別内訳（令和３年度）

(単位：人)

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
小 学 校	30	41	47	68	81	55	322
中 学 校	129	67	29	-	-	-	225
合 計	-	-	-	-	-	-	547

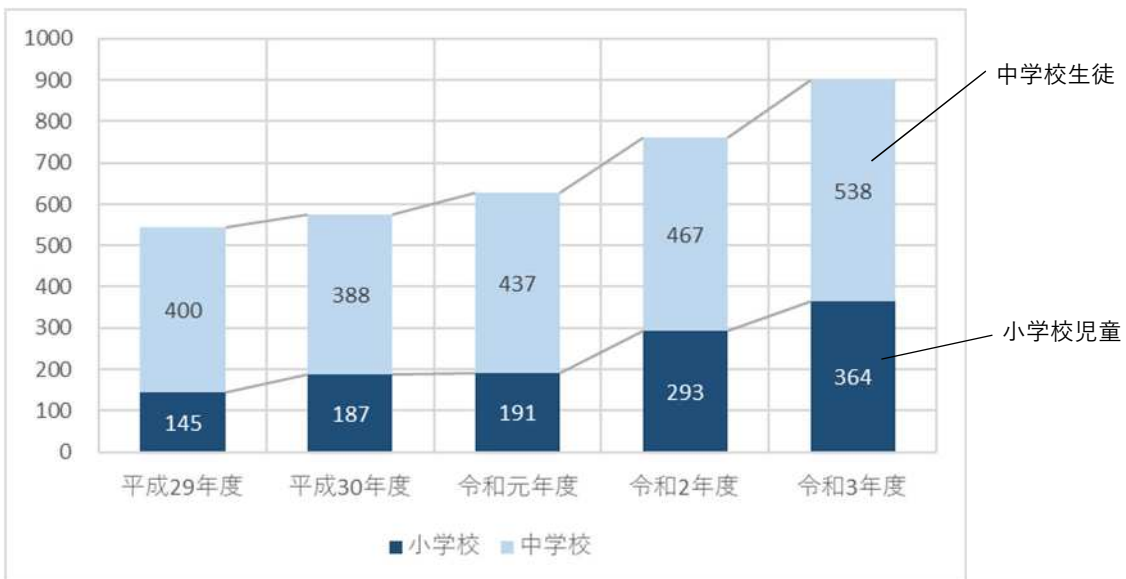
(2) 不登校の状況

不登校を理由に年間３０日以上欠席した児童生徒数

(単位：人)

	H29	H30	R1	R2	R3
小 学 校 児 童	145	187	191	293	364
中 学 校 生 徒	400	388	437	467	538
合 計	545	575	628	760	902

(単位：人)



(3) 教育相談

■ ほほえみ相談員の配置

小中学校における不登校児童生徒への対応を目的として、23人の教育相談員（ほほえみ相談員）を配置しています。すべての小中学校を対象とし、家からなかなか出られない児童生徒への家庭訪問を中心としたふれあい活動を通して、学校復帰や社会的自立に向かうように支援しています。また、いじめ問題の早期発見、早期対応を目指し、校内における教育相談活動も行っています。

■ スクールカウンセラーの配置

様々な要因から、心の負担を抱える児童生徒は、少子化が進むなかにあっても減少していかず、その問題は複雑化しています。児童生徒や、その保護者の抱える心の負担を少しでも軽減し、前向きに生活を送ることができるようにするために、スクールカウンセラーを市内の学校に配置し、カウンセリングを中心とした心の支援を行っています。また、市内学校で重大事案が発生した折は、すぐにその対応にあたっています。

(4) 不登校特例校 岐阜市立草潤中学校

令和3年4月に、旧徹明小学校の跡地に、東海地区初となる公立の不登校特例校「岐阜市立草潤中学校」が開校し、40名の生徒が転入学しました。草潤中学校では、不登校を経験した生徒をありのまま受け入れ、個に応じたケアや学習内容・学習環境の中で、心身の安定を取り戻しつつ、一人ひとりに応じた学力を身に付け、それぞれの才能を活かした将来のライフプランを描くことができる学び・体験の場の実現を目指しています。

一般の中学校は、全学年それぞれ年間1,015時間の授業を行います。草潤中学校は、年間770時間の授業を行います。また、草潤中学校では、多様な学びのスタイルを尊重し、家庭での学習を基本にして学習を進めるスタイル、家庭で学習して週に数日登校スタイル、毎日登校するスタイル等、生徒に合ったリズムを相談して決めています。さらに、「セルフデザイン」という独自の教科があり、音楽・美術・技術・家庭の学習の中から、一人ひとりが自分の興味・関心のある学習に取り組むこともできます。

令和3年度は、年間で平均して約7割の生徒が登校し、約1割の生徒がオンラインで学習に参加しました。登校することが主目的ではないですが、草潤中学校が安心できる環境になっていることがうかがえます。3年生については、全員が高校へ進学をし、それぞれが新たな一歩を踏み出しました。

そして、令和4年度は、1年生10名、2年生2名、3年生6名が転入学しました。草潤中学校に転入学できなかった児童生徒には、草潤中学校での通級支援やオンライン支援、エールぎふによる支援等、一人ひとりに最適な学びの場を検討・提案しました。

今後は、草潤中学校が本市の不登校支援の中核的機能を一層果たすことができるよう、令和5年度の転入学に向けた手続き等について関係者に周知するとともに、草潤中学校での実践のノウハウを市内の学校へ普及させ、不登校支援の充実、個別最適な学びの実現に努めていきます。

学校保健、学校安全の管理、指導の充実を図るために、保健主事、養護教諭の研修を定期的に行っています。学校医、学校歯科医による児童生徒及び教職員等の定期健康診断、健康相談を通じて健康管理に留意するとともに、学校薬剤師の協力を得て、校舎内の空気環境調査、騒音調査、照度調査、飲料水検査等を実施しています。

岐阜市学校保健会を組織し、学校保健研究大会の開催や各研究会への関係者の派遣、研究紀要の発行、歯の優良児、歯の優良校、環境衛生活動優良校の表彰、研究委託校の指定などの事業を行っています。また、生活習慣病予防対策として平成7年度より市内全小学校の5年生希望者を対象に採血検査を実施し、生活習慣病予備軍の早期発見に努めるとともに啓発冊子等により予防対策を実施しています。

■ 小児生活習慣病予防対策事業

全国的に生活習慣病予備軍の児童が増加しています。岐阜市が平成7年から小学校5年生を対象に行っている血液検査（総コレステロール、中性脂肪、尿酸）では、この3項目の検査結果の内、1項目でも基準値を超える児童の割合が「30%以下」を目標にしていますが、この数年は、30%前後で推移しています。

生活習慣病予備軍の出現率が恒常的に30%以下となるよう、子どもたちの生涯にわたる健康づくりと自己管理能力の育成を図るためには、継続した取組が必要であることから、生活習慣病に対する保護者への啓発、児童の運動への取組、食の重要性に関する指導・啓発等、学校・家庭・地域と連携し、血液検査（小学校5年生の希望者）結果に基づく学校医等による指導をはじめとして健康づくりを推進します。

■ 疾病等の状況（令和３年度）

			小学校							中学校						
			男子		女子		合計			男子		女子		合計		
			人数	%	人数	%	人数	今年度%	前年度%	人数	%	人数	%	人数	今年度%	前年度%
調査対象者数			9920		9428		19348			5104		4874		9978		
内科	肥満度	－20%以下(やせ傾向)	102	1.03	104	1.10	206	1.06	1.52	194	3.80	160	3.28	354	3.55	4.33
		＋20%以上(肥満傾向)	905	9.12	671	7.12	1576	8.15	9.59	565	11.07	368	7.55	933	9.35	10.10
	栄養状態	栄養不良	2	0.02	0	0.00	2	0.01	0.00	7	0.14	6	0.12	13	0.13	0.01
		肥満傾向	135	1.36	72	0.76	207	1.07	1.28	44	0.86	13	0.27	57	0.57	0.65
	脊柱胸廓	脊柱・胸郭異常	143	1.44	110	1.17	253	1.31	1.85	94	1.84	74	1.52	168	1.68	2.25
	皮膚疾患	アトピー性	161	1.62	167	1.77	328	1.70	1.79	119	2.33	62	1.27	181	1.81	2.23
		その他	118	1.19	89	0.94	207	1.07	0.99	23	0.45	14	0.29	37	0.37	0.34
	心臓の疾病異常		106	1.07	108	1.15	214	1.11		99	1.94	76	1.56	175	1.75	
	心電図異常(1年生、4年生)		118	3.67	94	3.13	212	3.41		64	3.79	38	2.26	102	3.03	
	ぜん息		259	2.61	179	1.90	438	2.26	2.47	53	1.04	32	0.66	85	0.85	1.55
	糖尿病	1型	3	0.03	4	0.04	7	0.04		3	0.06	2	0.04	5	0.05	
		2型	1	0.01	0	0.00	1	0.01		0	0.00	2	0.04	2	0.02	
	腎性糖尿		0	0.00	0	0.00	0	0.00		1	0.02	2	0.04	3	0.03	
	腎臓疾患		19	0.19	16	0.17	35	0.18		21	0.41	24	0.49	45	0.45	
眼科	裸眼視力	1.0未満0.7以上	1271		1357		2628			567		533		1100		
		0.7未満0.3以上	1219		1291		2510			797		763		1560		
		0.3未満	985		1118		2103			925		993		1918		
	眼の疾病・異常		710	7.16	525	5.57	1235	6.38	5.37	201	3.94	146	3.00	347	3.48	3.52
耳鼻咽喉科	難聴		19	0.19	16	0.17	35	0.18	0.21	8	0.16	11	0.23	19	0.19	0.38
	耳疾患		404	4.07	315	3.34	719	3.72	3.97	169	3.31	100	2.05	269	2.70	2.35
	鼻・副鼻腔疾患		981	9.89	477	5.06	1458	7.54	6.50	392	7.68	206	4.23	598	5.99	3.48
	口腔咽喉頭疾患・異常		103	1.04	75	0.80	178	0.92	1.08	42	0.82	33	0.68	75	0.75	0.64
歯科	齲歯人数	処置完了者	1919	19.34	1699	18.02	3618	18.70	18.19	675	13.22	767	15.74	1442	14.45	11.73
	(乳歯・永久歯)	未処置歯のある者	1673	16.86	1456	15.44	3129	16.17	16.99	373	7.31	389	7.98	762	7.64	8.59
	顎関節		9	0.09	9	0.10	18	0.09	0.08	11	0.22	15	0.31	26	0.26	0.37
	歯列・咬合		558	5.63	520	5.52	1078	5.57	5.97	358	7.01	315	6.46	673	6.74	5.47
	歯垢の状態		387	3.90	281	2.98	668	3.45	4.21	248	4.86	153	3.14	401	4.02	3.61
	歯肉の状態		209	2.11	216	2.29	425	2.20	3.33	257	5.04	166	3.41	423	4.24	3.53
	その他の歯病・異常		141	1.42	137	1.45	278	1.44	1.47	33	0.65	19	0.39	52	0.52	0.13
検尿一次	蛋白検出	30	0.30	66	0.70	96	0.50		162	3.17	84	1.72	246	2.47		
	尿糖検出	9	0.09	9	0.10	18	0.09		12	0.24	9	0.18	21	0.21		
寄生虫卵保有者																
結核	委員会で要検討	29	0.29	17	0.18	46	0.24	0.27	11	0.22	10	0.21	21	0.21	0.09	
	結核精密検査対象者	6	0.06	3	0.03	9	0.05	0.02	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00	
	結核患者	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00	
言語障害			128	1.29	48	0.51	176	0.91	0.88	20	0.39	17	0.35	37	0.37	0.30
食物アレルギー			655	6.60	537	5.70	1192	6.16	5.33	329	6.45	302	6.20	631	6.32	5.78
その他の疾病および異常			1216	12.26	498	5.28	1714	8.86	8.26	475	9.31	299	6.13	774	7.76	8.55

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度学校保健統計健康状態調査で実施しなかった調査内容については、結果に含まれておりません。

本市では、単独校調理方式で、幼稚園2園、小学校38校、中学校17校、特別支援学校1校、共同調理場方式で小学校8校、中学校5校の幼児、児童生徒に対して完全給食を実施しています。

また、より安全安心な給食提供のための各種マニュアル（岐阜市学校給食衛生管理マニュアル、岐阜市学校給食調理作業マニュアル、岐阜市学校給食における食物アレルギー対応の手引き、学校給食における危機管理マニュアル）を作成し、安全安心な給食提供に努めています。

（１） 給食内容の充実

学校給食の献立は、市内統一献立で、校長、教頭、給食主任、栄養教諭・学校栄養職員、調理員、PTAの各代表者による献立作成委員会で作成しています。献立の組み合わせに配慮して米飯を週3.5回実施、また、パン、スパゲティ併用等主食の多様化を図っています。副食についても栄養のバランスを考慮し、地産地消を推進するとともに、季節の素材を生かす工夫を行うなど、安全・安心で魅力ある給食内容を目指しています。

給食費は、月額で、幼稚園4,080円、小学校4,500円、中学校5,380円を徴収しています。

パン、牛乳、その他の食材等については、栄養分析、細菌検査、保存料、酸化防止剤の理化学検査、農薬等の規格検査を行い、品質の管理に特に留意しています。

（２） 給食関係者の研修

学校給食を安全かつ円滑に推進するために、関係職員の研修の充実に努めています。給食主任会では、給食主任を通して各校全校体制の中で管理や指導の研修を進めています。また栄養教諭・学校栄養職員等については、年間計画に基づき研修会を実施し、給食内容や管理、指導の充実に向けて研修を重ねています。また、食の指導の充実を図るために、専門性を生かした指導のあり方についても研究を進めています。